

第 17 回番組審議委員会 議事録

開催日時：2010 年 10 月 5 日（火） 11:30～14:00

開催場所：JCN 中野 5 階会議室

出席者：委員総数 7 名中 6 名出席

出席委員氏名 川島 正英 委員 田辺 裕子 委員 八十島 信行 委員
涌井 友子 委員 折原 烈男 委員 (西森 英樹)

欠席委員氏名 志賀信夫 委員

JCN 中野側出席者 西森 英樹 牛山 茂 佐藤 雅広
西井 俊介 田中 智盛 村田 直哉

JCN 側出席者 清田 裕司

審議内容

■ 開催にあたり、JCN 中野 西森社長から挨拶及び本日の議題説明。

JCN 中野の開局 15 周年に際し、長年の地域の皆様方のご支援に厚く御礼申し上げます。地域の情報提供、地域の活性化に役立つ自主制作番組作りを継続していくが、今後はこれらに加えて「視聴者の皆様が見たいと思う番組作り」「中野発信情報の他地域展開」を念頭に、地域メディアとしての更なる価値向上を目指して行きたい。

■ 議事に先立ち、西森社長から田辺委員、折原委員を紹介。続いて、鳴戸前委員長逝去に伴う番組審議委員長の互選の結果、八十島委員を新たに委員長とすることを満場一致で決定し、同委員から就任承諾を得た。これにより、以降の議事進行を八十島委員長が行う。

1・社概要について

JCN 中野 西森社長から会社の現状について概要以下の通り説明。

- ・JCN 中野開局 15 周年の報告。資本金 21 億。従業員数 89 人
- ・接続世帯数は、アナログ停波直前ではあるが、中野区世帯の約 80% の 14 万世帯に上る
- ・テレビ、インターネット、電話の主力 3 サービスによる加入者の拡大を推進中。昨年 4 月、緊急地震速報のサービスも開始。
- ・中野区の情報を区外へと配信。将来的に各 CATV 局との相互協力・情報の活性化が必要と示唆

【意見】(八十島委員) 今後、接続世帯数 80% を出来る限り 100% に近づけられるよう期待したい

2・CS デジタル放送について・新チャンネルの紹介

JCN 中野 佐藤部長代理から 2010 年 10 月からの CS 放送のハイビジョン番組数拡大を説明。

- ・CS 既存番組 18 チャンネルがハイビジョン化。ハイビジョンチャンネルが 30 に拡大
- ・コミュニティチャンネルは来年 4 月以降ハイビジョン化予定

【質問】(川島委員)2011年7月デジタル化。総務省の指針以外にJCN中野で視聴者に向けて何かしているのか？

【回答】(西森社長)中野は集合住宅が多く、集合世帯の地デジ対策は遅れ気味なので、オーナーや管理者向けにDMおよび戸別訪問を行い丁寧に対応していく方針

【意見】(田辺委員)デジタル化によりCATVの視聴者数が減るのではと懸念しているが？

【回答】(西森社長)番組の品質向上・魅力的なサービスの提供が必要。意見を参考に改善していく

【質問】(折原委員)電話サービスの内容は魅力的。商店街での普及を進めたいが各事業所へ説明できているのか？

【回答】(佐藤部長代理)営業との連携を図り、各企業への普及促進を進めていく

3・コミュニティチャンネルについて

JCN中野 西井マネージャー(以下、西井M)からコミュニティチャンネルの制作体制、10月の番組編成、番組内容について説明。

(検討資料として事前にコミュニティチャンネルの番組をDVDに収録し事前に郵送した)

(1) 2010年4月からの番組編成、制作体制について

去年同様、生活圏を重要視し本部・エリア・局の3本立てで番組を制作

- ・本部、エリアは企画番組を主とし、局はニュース番組の制作を中心とする
- ・視聴者アンケートを踏まえ、女性・高齢者をターゲット層とする
- ・通販番組は昼の時間帯のみの放送
- ・朝7時～9時の通勤時間帯は、ライブカメラ映像で天気・交通機関運行情報を放送
- ・1番組の再放送は最大21回まで
- ・番組時間拡大「デイリー中野」15分から20分に変更

【意見】(八十島委員)女性、高齢者は地元に関心を持っている。「改めてどんな街なのか」がわかるのはありがたいことぶき大学(生涯学習)とタイアップしてもおもしろいと思う

【質問】(涌井委員)高校野球の中継はよかった。少年野球大会もあるので、これを活かすのもおもしろいのでは？

【回答】(西井M)今はニュースとしての放送のみだが、今後、特番として放送したいと考えている

【意見】(西森社長)高校野球で中継試合に出場する学校へ、生放送前に事前宣伝すればよいと思う

(2) 2010年10月からの編成について

10月から「東京西逸品捜査班・名店編」を新番組「ちょっと寄りたいこんな店」に変更

10月に開局15周年記念として中野まつりを2日間生中継。区民参加型の番組を目指す

(3) コミュニティチャンネルの番組について

本部、エリア、局の3本立てで、特番を含め14番組を放送

【意見】(川島委員)

意欲的に特色ある方向に向かっている

デイリー中野について・・・途中から見ても内容がわかるように工夫が欲しい(テロップで場所・日時・人名もを長く表示するなど)

なかの散歩道について・・・男性レポーター以外にも起用しては？番組の構成が他番組と似ているので色をつけてもいいと思う

男性のみだと女性商品を扱う店には向いていない。中野の個性・特徴を引き出す番組作りをして欲しい

【意見】(八十島委員)

接続世帯も多く、コミチャンは貴重な媒体。フルに活用して欲しい

時代を考えて高齢者の生きがい作り。ネットワーク作りのきっかけになるような番組を作って欲しい

番組全体・・・データ放送の強化、視聴者の知りたい情報を提供できるのでは

「フリーオンデマンドで見ることができる」などの情報を入れたらどうか？

【回答】(清田室長)VODサービスを行っているがプロモーション不足。今後、周知を図りたい

【意見】(田辺委員)

局制作番組について・・・テロップに漢字が多いのでは？ひらがなを増やしたほうが理解しやすいと思う

デイリー中野について・・・テロップの表示時間が短く背景に埋もれて見辛い時がある。メモを取る時間もないので工夫しては。

ハッピーラボについて・・・コミュニティならではのいい企画。JCN全エリア用の番組という利点を活かしている

【意見】(涌井委員)知ってる場所、知ってる人などローカルのな色彩を大切にしたい

4・その他

2011年7月アナログ放送終了に伴う、デジアナ変換についての報告

2010年5月中野区区長選挙公開討論会放送中止についての報告

閉会にあたり、八十島委員長から総括

- ・ 昔と比べると、コミチャンの中身も充実してきている。本日のご意見を反映して、更なるレベルアップを目指し様々なことに挑戦して欲しい

以上